

# 新春鼎談 明日の政治を語ろう

コロナ禍の中で激変する世界と日本。今年4月の統一自治体選挙は、平和や私たちの市民生活に大きな影響を及ぼす選択の時となります。ともに立憲民主党の議員として、瑞穂区を基盤に活動する牧義夫衆議院議員、高木ひろし県議会議員、そして久田くにひろ市議会議員が、政治への思いや今回の選挙の意味について語り合いました。

衆議院議員 牧 義夫  
愛知県議会議員 高木ひろし  
名古屋市議員 久田くにひろ



高木ひろし県議会議員 久田くにひろ市議会議員 牧 義夫衆議院議員

## 本当の安全保障を議論する国会に

牧 岸田内閣は昨年末に、国民的議論もないままこれまでの「専守防衛」などの日本の外交安全保障政策を大転換し、5年間で43兆円という途方もない防衛予算を投じる税制改正大綱を決めました。与党内ではこの財源をめぐって赤字国債を充てるのか、増税で賄うのかといった議論が侃々諤々交わされていますが、これは「防衛費2倍増」ありきとして、国債か増税の二者択一しかないかのように誤解させる、とんでもない茶番劇です。国民の生命や財産を守るために真に必要なものは何かといった、安全保障の真摯な議論こそ必要です。隣国・中国との平和共存の関係をどう築いていくべきなのかを冷静かつ複眼的に捉え、歴史的な教訓

に学ぶことも重要だと思います。また、もうひとつの安全保障、「生活の安全保障」問題も差し迫った課題となっています。物価高が異常な状態になり、賃金や年金が上がらない状態が続く中で、日本社会の貧富の差、富の偏在がますますひどくなっている。「所

得の再分配」がいまこそ必要なことは明らかなのに、財務省は消費税を中心とした増税路線を目論んでいるのです。私は、物価高から国民生活を守るためには「消費税減税」こそ唯一の効果的な政策だと訴えてきました。この国会で、徹底的に議論しなければなりません。

## 「異次元の少子化対策」というなら

高木 衆参で過半数を占める与党議席の上に国会を軽視する姿勢は、安倍・菅時代と同じですね。「防衛費2倍増」問題が批判を浴びると、取ってつけたように「異次元の少子化対策」などと言いつつ、これまでの少子化対策がほとんど効果を上げていないことの総括がないと思う。民主党政権時代に、「高校無償化」や「チルドレンファースト」といった流れが、やっと日本政治の中心課題になったものの、自公政権に戻ってから所得制限を入れるなど随分後退してしまった。日本の子育て支援に関する予算は、いまだGDP比で2%にも満たず、出生率回復に成功したフラ

ンスの半分程度にとどまっています。愛知県では、年収720万円以下の世帯に私学の授業料助成がいきわたるようになり、実質的な公私の負担格差が解消されましたが、大学も含めて、日本の教育費は個人の家計負担が重すぎるという現実は変わっていません。

牧 共稼ぎで子育てに取り組んでいる家族にとって、所得制限で手当や支援の対象から外されてしまうというのはまったく理不尽な話で、撤廃すべきです。保育などについても、保育士の配置基準が何十年も前から変わらず、労働条件が厳しいためいろいろな問題が起きています。「異次元

の少子化対策」というなら、出産時に50万円出すという政策も、いっそ500万円にしたらどうか。年間80万人しか生まれないのだから、4兆円で済む。防衛費に比べれば、よほど国民のためになるんじゃないか。

久田 若い世代をみても、結婚もしたいし、子どもも欲しいんだけど、経済的な不安を抱えている人が実に多い。子育て支援に予算を

投じることが経済成長戦略にもつながるというのが、僕の大学院の修士論文のテーマでした。家族の在り方についても、フランスのように柔軟で多様性を認める方向にすべきだと思います。

高木 名古屋で昨年12月から始まったファミリーシップ制度は、一歩前進ですね。選択的夫婦別姓制度も、自民党の中でなぜあんなに抵抗が強いのか不思議に思

っていたが、「統一教会」などの勢力が背後で強い圧力をかけていたことがわかりました。こういう勢力と関係を持っていた議員を、選挙で一掃しないといけませんね。



プラス」が今年度から導入されました。

## 「歩車分離」で歩行者の命守る

高木 1年前に、終業式帰りの弥富小学校の児童が交通事故死するという痛ましいことがありましたが、愛知県では交通死亡事故が全国ワーストという状態が17年も続いて、大きな問題になってきました。特に交差点で歩行者が犠牲になるケースが多いので、私は「歩車分離信号」の普及を訴え続けてきて、確かに死者の数は大きく減ってはきたのですが。



牧 高木さんの愛知県議会での質問は、2008年に熱田区で保育園に通う親子が、交差点で左折してきた保冷トラックに轢かれて亡くなるという事件がきっかけでしたね。全国的にも通学中の児童の列に車が突っ込むという事故があいついで、国土交通副大臣だった伴野さんや参議院議員の斎藤さんから民主党議員が中心となって議連を作り、通学安全確保法案を何度も国会に提出してきたんですよ。

久田 私も汐路学区で「ETC2.0」というビッグデータを活用した生活道路の交通安全対策にかかわり、制限速度を30キロ以下に制限すると同時に道路形状にもさまざまな安全対策を施す「ゾーン30

## 「誰一人取り残さない」関係プレー

牧 久田さんは私と同じ陽明小、汐路中出身で、地域に密着しているのが市議会議員としての何よりの強みだね。子ども食堂や、ホームレス支援など、いろいろなボランティア活動にも熱心だし、「誰一人取り残さない」というスローガンを地道に実践していることも、スマホが使えない人や小さなお店のコロナ対策の支援や相談にも、こまめに世話をしていたいたとの感謝の声も聞いています。「地盤、看板、カバンなし!」という自伝(?)パンフレットも、



共感をもって読ませてもらいましたよ。

高木 交通安全や防災対策も含めて、市民生活の安全・安心を守るという課題は政治の原点ですからね。「誰一人取り残さない」というSDGsの合言葉を実現するためには、国会議員、県議会議員、市議会議員の連携プレーが何より効果的だと思います。牧さんも、久田さんも同じ瑞穂区の汐路学区出身ですし、私も3人の子どもを弥富学区で育てていただき、「瑞穂愛」ほどの党にも負けないトリオです。

区を中心である瑞穂運動場は3年後の2026年に、アジア競技大会・アジアパラ大会のメイン会場ともなります。中国や韓国を含めアジア各国から多くの障害者を含む人々が集うこの大会が、アジアの平和交流の場となることを願わずにはられません。「敵基地攻撃」などという物騒な空気を一掃して、アジア平和の祭典に。

立憲民主党 演説会イン瑞穂 4月5日(水)午後6時より 瑞穂区役所講堂

【弁士】衆議院議員 牧 義夫 / 愛知県議会議員 高木ひろし / 名古屋市議員 久田くにひろ

## 名古屋市議員 久田くにひろ 4年間の活動データ 2019~2022



名古屋市議会屈指の若さを活かし、あふれる情熱を行動力に変えて、誰も置き去りにしない社会の実現を進めます

議会で発言、実現につなげました！

### 2019年度

- ◎がん患者の治療と仕事の両立支援の拡充 (9月定例会本会議個人質問)
- ◎学校生活介助アシスタント事業費の大幅増額 (11月定例会本会議個人質問)
- ◎ふるさと納税・サクラ名所寄附金の創設 (11月定例会本会議個人質問)
- ◎居住支援コーディネーターの創設 (都市消防委員会)

### 2020年度

- ◎複合災害に対応するための職員体制の強化 (6月定例会本会議個人質問)
- ◎住居確保給付金にかかる生活困窮者支援窓口のスタッフ増員 (6月定例会本会議個人質問)
- ◎ファミリーシップ制度の導入 (9月定例会本会議個人質問)
- ◎コロナ自宅療養者向け配食サービスの対象者拡大 (財政福祉委員会)
- ◎がん患者の乳房補整具購入助成の導入 (財政福祉委員会)
- ◎返礼品付きふるさと納税の導入 (財政福祉委員会)

### 2021年度

- ◎女性活躍推進のための市職員人事制度の変更 (6月定例会本会議個人質問)
- ◎化学物質過敏症の相談窓口設置 (6月定例会本会議個人質問)
- ◎コロナワクチン接種予約体制の強化 (11月定例会本会議個人質問)
- ◎中小製造業に対する脱炭素・カーボンニュートラルに向けた支援 (11月定例会本会議個人質問)
- ◎山崎川の保全拡充 (土木交通委員会)
- ◎生活道路安全対策でのゾーン30プラスの実施 (土木交通委員会)

### 2022年度 (予定)

- ◎社会課題の解決に取り組むスタートアップへの支援 (6月定例会本会議個人質問)
- ◎居宅訪問型保育事業の導入 (6月定例会本会議個人質問)
- ◎中小企業のデジタル化推進に向けた補助金創設 (経済水道委員会)
- ◎文化芸術の担い手や若手芸術家の支援・育成拡充 (経済水道委員会)
- ◎グリーンインフラの推進に向けた生物多様性に配慮した緑化、社会インフラへの効果的な導入 (11月定例会本会議個人質問)



1983年12月31日生まれ

【経歴】 瑞穂区春山町生まれ  
陽明小・沙路中・天白高校卒業  
青山学院大学経済学部卒業  
名古屋大学大学院経済学研究科修了  
不二家・京セラグループで法人営業

【活動】 子ども食堂、フードバンク活動、剣道生活困窮者支援、公共経済政策、防災士、SDGs活動 (山崎川保全)

#### 久田くにひろ事務所

〒467-0007 名古屋市瑞穂区大殿町3-5  
ドミール沙路101号室  
TEL (052) 846-3460 FAX (052) 846-3461  
MAIL: hisada.kunihiro92@gmail.com



5つのSNSで情報発信中！  
フォローお願いします。

## 愛知県議会議員 高木ひろし 4年間の活動データ 2019~2022



今任期中(2019~2022)高木ひろしはこんなテーマを県議会で取り上げました  
《愛知県議会ホームページ議事録で、全文検索できます》

### 2022年度

- ◎県新体育館のユニバーサルデザイン/設楽ダムの基本計画変更/県公安委員会の専決規定の問題点 (2022年6月本会議)
- ◎県新体育館のユニバーサルデザイン (2022年8月アジア・アジアパラ競技大会特別委)
- ◎愛知県人権条例制定後の課題、食品プラ容器増大 (2022年6月議会県民環境委員会)
- ◎ヘイトクライムとしてのウロコ放火事件判決/パートナーシップ制度の県内状況 (2022年9月県民環境委員会)
- ◎令和3年度公営企業会計決算を審査・認定 (2022年10月、決算特別委員長として)
- ◎県内自治体間での再エネ型新電力、個人情報保護で広がる本人通知制度 (2022年12月県民環境委員会)

環境、人権、福祉でリベラル・チエック



#### プロフィール

1953年(昭和28)生まれ。  
県立旭丘高校、大阪大学人間科学部卒。  
日本社会党中央本部に16年勤務。  
1996年民主党結党に参加し、  
1999年から愛知県議、現在5期目。  
平和、人権、環境のテーマをライフワークとし、  
様々なNGOの役員も務める。  
立憲民主党愛知県連幹事長代理

#### 高木ひろし事務所

〒467-0047 名古屋市瑞穂区日向町4丁目19番地の1  
電話 (052) 837-0921 ファクス (052) 837-2178  
h-takagi77@mediacat.ne.jp



ホームページ



Facebook



ユーチューブ

### 2019年度

- ◎アジア競技大会でのパラ大会併設の可能性 (2019年8月アジア競技大会特別委)
- ◎アジア人留学生の過大受け入れ問題/愛知県教委の障害者雇用増進問題を追及 (2019年9月本会議)
- ◎インターネット上の差別情報規制/愛知トリエンナーレの文化庁補助金停止問題問う (2019年9月県民環境委員会)
- ◎生ごみ処理のコンポスト活用を (2019年12月県民環境委員会)
- ◎人にやさしい街づくり条例改正を/IR(カジノ)提案募集を批判 (2020年2月本会議)
- ◎再生可能エネルギー利用と地域新電力支援を/幼保無償化で朝鮮学校差別やめよ (2020年3月県民環境委員会)

### 2020年度

- ◎今なお残る部落差別解消を/教育委員会の障害者雇用率最低を批判 (2020年9月本会議)
- ◎ふるさと納税方式のあいち医療応援基金 (2020年9月総務企画委員会)
- ◎コロナ感染防止協力金/再犯防止計画など (2020年11月総務企画委員会)
- ◎感染防止休業要請の強制力/コロナ専用病床の確保を (2021年臨時総務企画委員会)
- ◎特措法・感染症法の罰則適用すべきか/教育委員会障害者雇用の具体策を (2021年2月本会議)
- ◎犯罪被害者給付金制度の差別なき運用を/知事リコール署名の不正/法人事業税の超過課税 (2021年2月総務企画委員会)

### 2021年度

- ◎性的少数者配慮と高校の制服選択制に改革を (2021年6月教育スポーツ委員会)
- ◎名古屋港管理組合議会副議長に選出され、カーボンニュートラルポートをめざす「次世代エネルギー推進特別委」を設置 (2021年6月)
- ◎カーボンニュートラルと水素戦略の推進策問う/労働者協同組合の普及 (2021年9月本会議)
- ◎愛知県のカーボンニュートラル実現への課題、労働者協同組合法 (2021年9月本会議)
- ◎県教委の障害者雇用と、県立高校のバリアフリー化 (2021年10月教育スポーツ委)
- ◎東京オリパラの教訓とアジア競技大会の課題 (2021年12月教育スポーツ委員会)
- ◎県新体育館のユニバーサルデザイン、県立高校における階段昇降機の実態 (2022年3月教育スポーツ委員会)